

講義についてのレポート（国際教養学科）

① 文章は論理的・説得的・簡潔に書かれているか。

文章が書き言葉かつ、簡潔に書かれているか。本学1年生の基礎ゼミ（FYS）で優秀な学生と同等の文章が書けていれば評価する。

② 講義で扱った内容を適切に理解しているか。

途上国からの食品輸入の現状、底辺への競争や、情報の非対称性、環境親和型の養殖事業、機会損失など、講義で扱った事実や緒理論を踏まえて、自分の考えを展開しているか。講義内容を十分に含んでおり、かつ適切な理解および、適切な援用が出来ていれば評価する。ただし、理論の用語そのものは含まれなくともよい。（例：底辺への競争の場合：途上国の食品生産には環境破壊のリスクがあり、先進国への輸出における途上国間の国際競争の中でそうした環境破壊のリスクは高まってしまう。）

③ ユニークな部分や、オリジナリティーがあるか。

講義で扱った緒理論を土台としつつも、いかに自分自身の考察を加えられているか。他者の見解や取り組みの紹介にとどまるものは低く評価する。特に問題文で明示しているように、①誰が②何を③どのようにしたのかというプロセスが明確なことが重要である。例えば、生産者と消費者の情報の非対称性を解決するために、①生産者が②環境親和的な商品であることを示すエコラベルを作成し③商品に貼って環境親和的な商品であることを示すこと。①消費者が②エコラベルの貼った商品③意識的に買うこと。といった内容が考えられる。本講義で説明されていない事項がしっかりと自身の考えとして示されていれば評価する。

④ 適切な論理展開が行われているか。

レポート全体の構成として、起承転結もしくは妥当な展開が行われているかをみる。尻切れになっているものや、唐突な展開になっていないか、特に破綻がなく妥当な展開であれば評価する。